

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど) □実施した ■実施していない		
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	植物の育成や、環境について学ぶことを通して、自然に対する思いやりや感性を養います。	1	一人一鉢(あさがお、ピオラ等)育てる。草花や野菜、稲を育てる。	1・2・3・4・5年 むくろじ級 各担任	児童 教職員	・児童が、毎日、一人一鉢の草花を世話したり、校庭の樹木を観察したりすることにより、植物への関心を深め、自然に対する思いやりが養われた。 ・畑での野菜や花、田んぼでの稲の育成を通して、植物の成長する様子や環境との関わりを学んだ。 ・学校の近くにある里山公園や柳谷、清水谷を季節ごとに訪れ、観察することを通して自然の豊かさ、地域の宝であることを再発見した。 ・社会科や理科の学習を通して、地球全体の環境問題を知り、地球の環境保全のために何をすべきかを考えた。 ・宮ヶ瀬ダム、最終処分場等の学習を通して、ごみ問題について考えるよい機会となった。	【取組の評価】 ■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 自然豊かである環境を利用して、様々な活動に取り組み、自然に対する思いやりが培われたため。 【今後の課題】 地域の恵まれた環境だけでなく、さらに視野を広くし、地球環境保全につなげていく方法を模索していく。 【次年度への引継ぎ事項】 今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を企画していく。
		2	地域の自然を生かした体験的な学習活動に取り組む。(里山公園、清水谷等)	1年・2年 各担任	1年生 2年生		
		3	社会科・理科・家庭科の学習で、地球全体の環境問題を調べたり、環境に配慮したりする生活の仕方を考える。	5・6年 各担任・理科専科	5年生 6年生		
		4	宮ヶ瀬ダム、最終処分場等の学習を通して、ゴミの減量化や節水の必要性、自然と自分たちの生活との関わりについて考える。	4年 各担任	4年生		
電気、水、物を大切に使う活動	日常の学校生活の中で、省エネルギー活動に取り組みます。	1	水道の蛇口をこまめに閉めるなど、水道水を無駄にしないようにする。	全教職員	全学年	・教室を出るとき等、電灯のスイッチをこまめに消すように心がけた。 ・水道の蛇口をこまめに閉めるように心がけて、水道水を無駄にしないように努めた。 ・ダムや浄水場の学習やリサイクルセンターの見学をとおして水道水を無駄にしない、物を大切にしてゴミの減量する必要性を感じた。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 教室を移動する際、電気のスイッチをこまめに消すように心がけたが、徹底するまでには至らなかったため。 【今後の課題】 児童の気づきから、様々な活動に取り組むことができたが、教職員全体の共通理解を図った上で、指導計画を立てる必要性を感じる。 【次年度への引継ぎ事項】 今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を企画していく。
		2	使っていない教室の照明をこまめに消すようにする。	全教職員	全学年		
		3	給食を残さず食べるようにして、残菜を減らす。	全教職員	全学年		
		4					
捨てるごみを減らす活動	ゴミの資源化を意識させ、日常的にリサイクル活動に取り組みます。	1	プラスチック類と紙類の分別をする。	全教職員	全学年	・各教室に、不要となった物を入れる種類ごとの箱を設置し、分別するリサイクル活動に取り組み、資源化を意識できた。 ・昨年度見直した牛乳パックの回収方法の定着を図ることで、リサイクルに向けた効率的な牛乳パックの回収の実現に近づけた。 ・ごみ拾いや清掃活動など、さまざまな環境美化活動が、子どもたちの環境美化意識の向上につながった。	【取組の評価】 ■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 一年間をとおして、児童・教職員ともに「ごみの資源化」を意識を持って取り組むことができたため。 【今後の課題】 今後も、「ごみの資源化」への意識をもった活動を継続していくために、学校全体で取り組み方法について考えていく。 【次年度への引継ぎ事項】 学校内のごみ総量削減を目指し、リサイクルする方法の工夫を検討していく。
		2	牛乳パックなどのリサイクルのために回収活動を行う。	全教職員	全学年		
		3					
		4					

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

写真

写真

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

丸山 修一

【今後の方向性について】

4年生の社会科では、環境事業センターの見学を含め、環境学習に取り組んだことで、ゴミの減量化や資源化への意識が高まりました。

5年生の総合的な学習において取り組んだ「田んぼの学習」では、子どもたちが主体的に活動を行うことができました。

小出小学校の子どもたちは、豊かな自然環境の中で学校生活を送っており、草花や野菜、稲を育てる活動も行っています。環境に関わる活動を通して、自然に対する思いやりや感性を育てていきたいと考えています。今後も、児童が主体的かつ体験的に環境教育に取り組めるよう創意工夫して、小出地区の特色を活かした活動に取り組んでいきたいと考えています。